

第3学年 技術・家庭科（家庭分野）

教科のねらい

- ① 消費のあり方を考え、消費者としての自覚を持ち、自分の生活に生かす実践力を育てる。
- ② 環境に配慮した消費生活を考え、行動できる。
- ③ 住まいの役割を考え、健康的な住まいについて理解し、自分の住まい方を見直そうとする。
- ④ 家族のコミュニケーションやプライバシー等の家族関係を考えた住まい方を追求する能力を養う。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 新しい技術・家庭 【家庭分野】（東京書籍） ○副教材 技術・家庭総合ノート[家庭分野]（東京書籍） ○教材 環境を考えた小物作り 	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・筆記用具 ・裁縫道具
学習の進め方	<p>《学習をしっかりするには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何事にも興味をもって取り組もう。 ○忘れ物をしない。提出物は期限を守ってきちんと出そう。 ○実習時は、友だちと協力して助け合いながらすすめよう。 ○技能は、地道に努力しよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿題は、丁寧に行おう。必ずやって、提出しよう。 ○消費者として自覚し、買い物に行くときには考えて行動しよう。 ○住生活に関して興味を持ち、健康で快適に住むために手伝いを進んでしよう。 また、防災についても真剣に考え、安全に生活できるよう見直そう。 ○学習したことを家で更に調べ、実践しよう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1学期末・2学期末・卒業テストの3回。いずれも技術科と合わせて50分のテストをします。 ○技術科50点、家庭科50点で合わせて100点満点となります。 ○教科書、ノート、配付したプリント、視聴したビデオやDVDなど授業で行ったすべての内容から出題する。また、時事問題もある。「自分の考え」をしっかり書こう。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しよう。 		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席して待とう。 ○授業に必要な物を確実に準備しよう。 ○授業中は、先生や友だちの話や意見を大切に聞こう。 ○黒板の内容、気づいたことはノートに工夫してまとめよう。 ○実習中は、他の班員と協力し、時間の使い方を工夫しよう。 ○ノート、プリントなどの提出期限は守ろう。 ○「どうすれば効率がいいか」など常に工夫しながら、あきらめることなく前向きに取り組もう。 ○すぐに人に聞くのではなく、自分でよく考えよう。 		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点	評価の場面・方法	
1	4	わたしたちの消費生活と環境 消費者としての自覚を持つよう	期 末	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	<ul style="list-style-type: none"> 住生活の自立に対する興味や関心をもって、意欲的に授業に取り組もうとしている。 消費者が巻き込まれるトラブルとその対処法を積極的に調べようとする。 安全に気をつけて実習をしようとしている。 学習した内容を自分の生活に取り入れようとしている。 	チャイム着席 準備物 発表意欲 行動観察 実習の取り組み 提出物 ワークやノートの内容
	5	販売方法と支払方法について 知ろう				
	6	商品の選択と購入について考 えよう				
2	7	消費者トラブルの解決する方 法を考えよう	期 末	工 夫 ・ 創 造	<ul style="list-style-type: none"> 賢い消費者として、商品を購入することを工夫できる。 家族構成やライフステージに求められる住まいの条件を考え、住まい方を工夫できる。 家庭内の事故を予防し、安全に住まう方法を工夫できる。 	実習の取り組み 発表内容 ワークやノートの内容 作品の評価 定期テスト
	9	消費者の権利と責任について 考えよう				
	10	よりよい消費生活を目指して				
	11	環境に配慮した消費生活 エネルギー消費を減らす方法 を考えよう				
3	12	持続可能な社会を目指そう	卒 業	技 能	<ul style="list-style-type: none"> 悪質商法を分類し、クーリングオフの書類を書くことができる。 家の間取りを正確に書くことができる。 家庭内の事故の安全対策を図で表すことができる。 	実習の取り組み ワークやノートの内容 作品の評価 定期テスト
	1	環境アクションプラン				
	2					
	3					
3				知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> 販売方法や悪質商法、トラブル解消法や消費者契約、権利について理解する。 住まいのはたらきと機能を理解できる。 住まいのルールやマナーを工夫することで、家族の関わりを深める快適なものになることを理解する。 	定期テスト 小テスト ワークやノートの内容 授業の発表内容